

公表	事業所における自己評価総括表（児発）
----	--------------------

○事業所名	逗子市こども発達支援センター　くろーばー			
○保護者評価実施期間	令和7年年1月14日		～	令和7年年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画を保護者と共有し、日々の療育に活かす ことができている。	年2回のモニタリング時を始め、面談時に活動の内容 と個別支援計画に記載されているものとを照らし合わせ ながら確認していること。	活動内容と個別支援計画に記載されている事項と合 わせて、5領域の観点からも日々の療育について意識を 広げていく。
2	必要に応じて、または定期的に保護者と面談を行い、 お子さんのことについて共通理解できていること。	モニタリング時に限らず、その都度保護者の希望に 沿って面談の機会を設けていること。	面談については、引き続き希望のある方と取り組む ことは継続し、面談をすることが難しい方は連絡帳等 を通じて連携することを継続していく。
3	お子さんたちが安心して通い、支援について保護者か ら満足を得られていること。	環境設定や活動の内容について、お子さんたちの過 ぎやすさと分かりやすさを大切に考え取り組んでいるこ と。	実際に行っている工夫点や、くろーばーで実施した 際に有効だったことについては保護者とも共有し、家 庭内がより過ぎやすくなるような工夫を共有してい く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育プログラムが固定化されている印象を与えてし まっている。	活動の意図や内容について、保護者に正確につたえる ことができていない。	それぞれの活動の意図について改めて保護者と共有 し、活動によっては、繰り返し行うことで見られる変 化や成長について共有していく必要がある。
2	幼稚園・保育園・こども園等との交流の機会を持つこ とができなかった。	交流ができる機会がなかった。	直接的な交流は難しい面もあるかもしれないが、市 内他事業所も含めて社会資源との交流を検討してい く。
3	防災や救急等の各種マニュアルを全保護者と共有でき ていないこと。	日程の情報や、訓練の実施前後の連絡報告は周知して いるが対象クラスのための共有となっていた。	年間予定や月間予定に表記し、全体に情報を周知す る。